

アートラボ 2023 第Ⅱ期

光島貴之 展

かたちと手ざわりで行ったり来たり

会期：2023年8月5日（土）～10月24日（火）

長野県立美術館本館2階の「アートラボ」は、視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な「ラボラトリー（実験室）」となることを目指しています。

2023年度の第Ⅱ期展覧会では光島貴之を紹介します。全盲の美術家光島貴之は、触覚や聴覚を通じて日常から得た刺激や感動を、釘やカッティングシートなどの様々な素材や形で作品を表現しています。本展では光島の豊かな感覚で捉え表現した作品を展示します。

視覚、触覚だけでなく、五感を使った作品鑑賞をお楽しみください。

展覧会概要

『アートラボ 2023 第Ⅱ期 光島貴之展』

かたちと手ざわりで行ったり来たり』

会 期：2023年8月5日（土）～10月24日（火）

休 館 日：毎週水曜日

開館時間：9:00～17:00（展示室入場は16:30まで）

観 覧 料：無料

会 場：長野県立美術館 本館2F アートラボ

主 催：長野県、長野県立美術館



光島貴之《かたちと手ざわりで行ったり来たり》

撮影：Shinichi Kanai

<関連イベント>

① 「光島さんとふれるアートをつくる」（仮称）

日時：2023年8月20日（日）10:00～12:00 会場：長野県立美術館 講師：光島貴之

内容：ふれるアートの鑑賞と制作ワークショップ

② 「光島さんと作品鑑賞会」（仮称）

日時：2023年8月20日（日）13:30～15:00 会場：長野県立美術館 講師：光島貴之

内容：展示室で作品に触れながら行う、作品制作や見えない人との鑑賞についてのアーティストトーク

※イベント詳細は決定次第、当館ホームページにてお知らせします。

展示作品

長野県が実施した「新美術館みんなのアートプロジェクト」にて制作された作品です。

(2019年依頼 2021年作品完成)

- ・光島貴之《かたちと手ざわりで行ったり来たり》2021年、制作協力：アトリエみつしま
- ・光島貴之《触覚でめぐる360度》2021年、制作協力：アトリエみつしま
- ・光島貴之《新しい点字ブロック（ショッピングモールでハンバーガー屋さんを見つける）》
2021年、制作協力：アトリエみつしま
- ・光島貴之《新しい点字ブロック（行きたい方角を足裏で感じる）》
2021年、制作協力：アトリエみつしま
- ・光島貴之《新しい点字ブロック（待ち合わせ場所）》
2021年、制作協力：アトリエみつしま

作家紹介

■光島貴之 MITSUSHIMA Takayuki

1954年京都生まれ、在住。美術家・鍼灸師。

10歳頃に失明。1992年より粘土造形を、

1995年より製図用ラインテープとカッティングシートを用いた「さわる絵画」の制作を始める。

1998年、「'98アートパラリンピック

長野」大賞・銀賞を受賞。2020年、“アトリエ

みつしま”を立ち上げ、スタッフとともに作品

制作やワークショップ等を精力的に行っている。



撮影：守屋友樹

ふれる作品鑑賞方法のご案内（下記についてご理解ご協力をお願いいたします）

○作品保護のため、荷物やアクセサリを外した状態での鑑賞をお願いしております。

- ・事前に館内1階のロッカーまたはアトラボ受付へ、荷物を預けてください。
- ・入場前は、アトラボ受付にて手指の消毒にご協力をお願いします。
- ・ふれて鑑賞する作品の性質上、過度な力を加えると壊れてしまいます。やさしく大切に触ってください。
- ・混雑状況により入場をお待ちいただく場合があります。

※諸般の事情により、会期などに変更が生じる場合があります。

報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4(善光寺東隣)

TEL:026-232-0052/FAX:026-232-0050/E-MAIL:nam-pr@naganobunka.or.jp



長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum